

第14回全国集会・山中湖の報告

水草研究会第14回全国集会は、去る8月20日～21日、山中湖の淑徳学園研修センターで開催され、北は青森県から南は佐賀県まで全国から57名の会員が集まりました。

標高約1000m、東京との温度差5～6℃の山中湖では冷房いらすずですが、最大の問題は交通渋滞。8月の週末の大混雑の中では、列車やバス利用、あるいは自家用車でも、身動きがとれなくなると予想されたので、例年とは異なる8月下旬、それも金・土曜日に開催することで、渋滞を回避することにしました。

準備は名誉顧問の大滝末男と原茂樹（東京）、林浩二（千葉）の3名が担当。会場は、大滝氏の紹介で大乗淑徳学園山中湖研修センターを利用することとし、7月には加崎会長と大滝氏、保坂三継氏（東京）および地元の杉浦忠睦氏で現地を下見して企画を固めていきました。保坂氏は、集会には参加できませんでしたが、下見の際の水質やプランクトン調査の結果をレポートとして提出してくださいました。

当日の会場設営や受付には、準備会の手が足りない中で、多くの皆さんのご協力をいただきました。

午後1時から8題、いずれも興味深い研究発表が行わ

れました。

- 1 沖縄八重山諸島のイバラモ属植物
内山 寛 （日本大・農獣医学部）
 - 2 アオウキクサの花芽分化誘導機構
田中 修 （甲南大・理学部）
 - 3 ヨシの成長・枯死過程におけるN、Pの地上部から地下部への移行
服部卓生・渡辺義人 （信州大・繊維学部）
 - 4 ジンバブエにおけるホテイアオイの害と対策
小島貞男 （㈱日水コン・中央研究所）
 - 5 水生植物の生態管理に関する国際シンポジウム（フロリダ）に参加して
国井秀伸 （島根大・理学部）
 - 6 フジマリモについて
安原健允 （日大・商学部）
 - 7 富士五湖の車軸藻類について
加崎英男 （東京都）
 - 8 山中湖の自然
杉浦忠睦 （山梨県）
- スライド映写機の不調や置時計の「時報」など、会場



の準備不足を反省しています。

ひきつづいて行われた総会では、研究会の将来をめぐって、いつも以上に盛んな討議が交わされました。

懇親会では、格安の予算の割に食べきれないほどの料理が次から次へと出されて、皆さんに満足していただけたと思います。その後も、一部の部屋では夜遅くまで話が尽きなかったようです。

二日目は天候にめぐまれ、恒例の記念写真撮影の後、バスによる現地観察会が行われ、午前中は山中湖を2ヶ所と忍野町役場近くの渋川、忍野八海を観察、忍野富士急ホテルで昼食をとり、午後は桂川で観察しました。

山中湖畔でのジャズコンサートによる交通渋滞のため、予定していた北東岸の観察地(フジマリモ生育地)には行けませんでした。地元の杉浦氏の御案内のおかげで、予定していたより多様な種類を観察できました。ウキクサ類があると、別府敏夫氏を困らせて種類の見分け方や花の観察など「ウキクサ教室」となったのが印象に残りました。

日程の関係から、杉浦氏の自宅にある生きたマリモのコレクションと、三島市・柿田川の(ミシマ)バイカモをコースにいれられなかったのが残念でした。柿田川には、帰途立ち寄られた方もおられたようです。

全国集会には、数多くの会員と知り合ったり、直接意見を交換したり、見分け方を学べたりとメリットがたくさんあります。今回は参加できなかった方も、次回以降の集会には、ぜひ御出席ください。

観察植物リスト

1. 山中湖(山中湖村役場前)

コカナダモ、センニンモ、セキシウモ、クロモ、ヒルムシロ属の雑種(センニンモ×エビモ、未記載)

2. 山中湖(東京電力流出口付近)

1と同じ。いずれも流れ藻。

3. 渋川(忍野町役場付近)

オオフサモ、コカナダモ、ナガエミクリ、イボウキクサ、コウキクサ、ヤナギモ

4. 忍野八海

〔湧池〕ナガエミクリ(沈水葉)、エビモ、バイカモ、セリ

〔鏡ヶ池〕アオウキクサ、コウキクサ

〔菖蒲池〕ヨシ、アオウキクサ、ショウブ、キショウブ

〔濁池〕オオアウキクサ、イボウキクサ、コウキクサ、

キショウブ、オランダガラシ、ナガエミクリ、コカナダモ、バイカモ(開花)、ヨシ、クサヨシ

5. 桂川(忍野富士急ホテル前、山中湖からの流出河川) コカナダモ、バイカモ、ヨシ

他に、忍野富士急ホテル庭園内の流れでもイボウキクサ(花)が観察された。

(文責 林 浩二)

〔総会報告〕

I. 報告事項

1. 会員状況(1991.8~1992.7)

新入会	28名
退会	5名
除名	6名
現会員数	286名

2. 1991年度事業報告

会報発行 No.43~No.45 (計 102ページ)

第13回全国集会 8月2~3日 於 神戸市
(会報 45号参照)

3. 1991年度会計報告

《収入》

前年度繰越金	177,146
会費	688,000
別刷代金	68,200
バックナンバー売上	71,000
利息	16,766
合計	1,021,112

《支出》

会費印刷費	993,950
会報発送費	152,985
通信費(切手代)	37,623
文具類	3,680
全国集会補助	12,300
合計	1,200,538
翌年度繰越	-179,426

4. その他

第15回国際植物科学会議(1993.8.28-9.3, 横浜)を協賛することになった。

II. 審議事項

1. 1992年度事業

会報発行 46号(4月)、47号(8月)、48号(